

(3) 調査結果 <詳細>

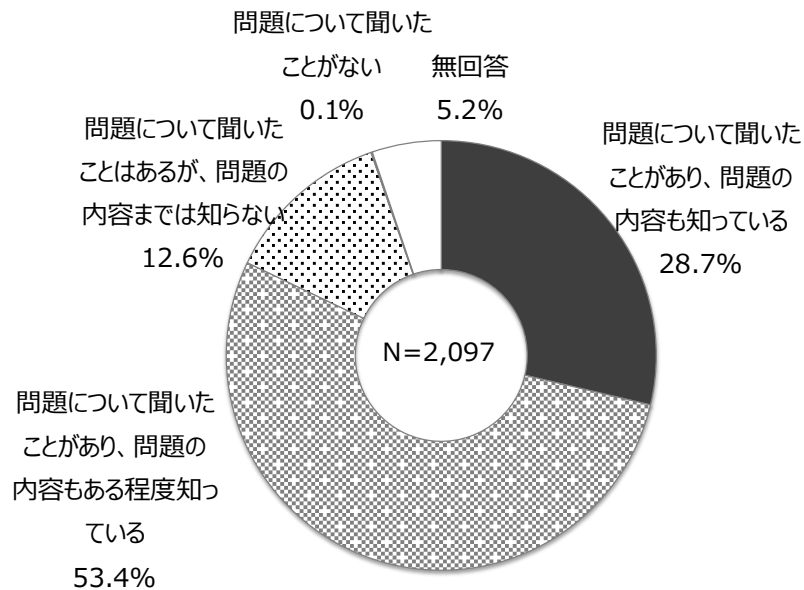
北方領土問題について

① 北方領土問題が存在することの認知

北方領土問題が存在することの認知度は、内容まで知っていると回答した人は 28.7%。「問題について聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っている」まで含めると、8 割以上に認知されている。

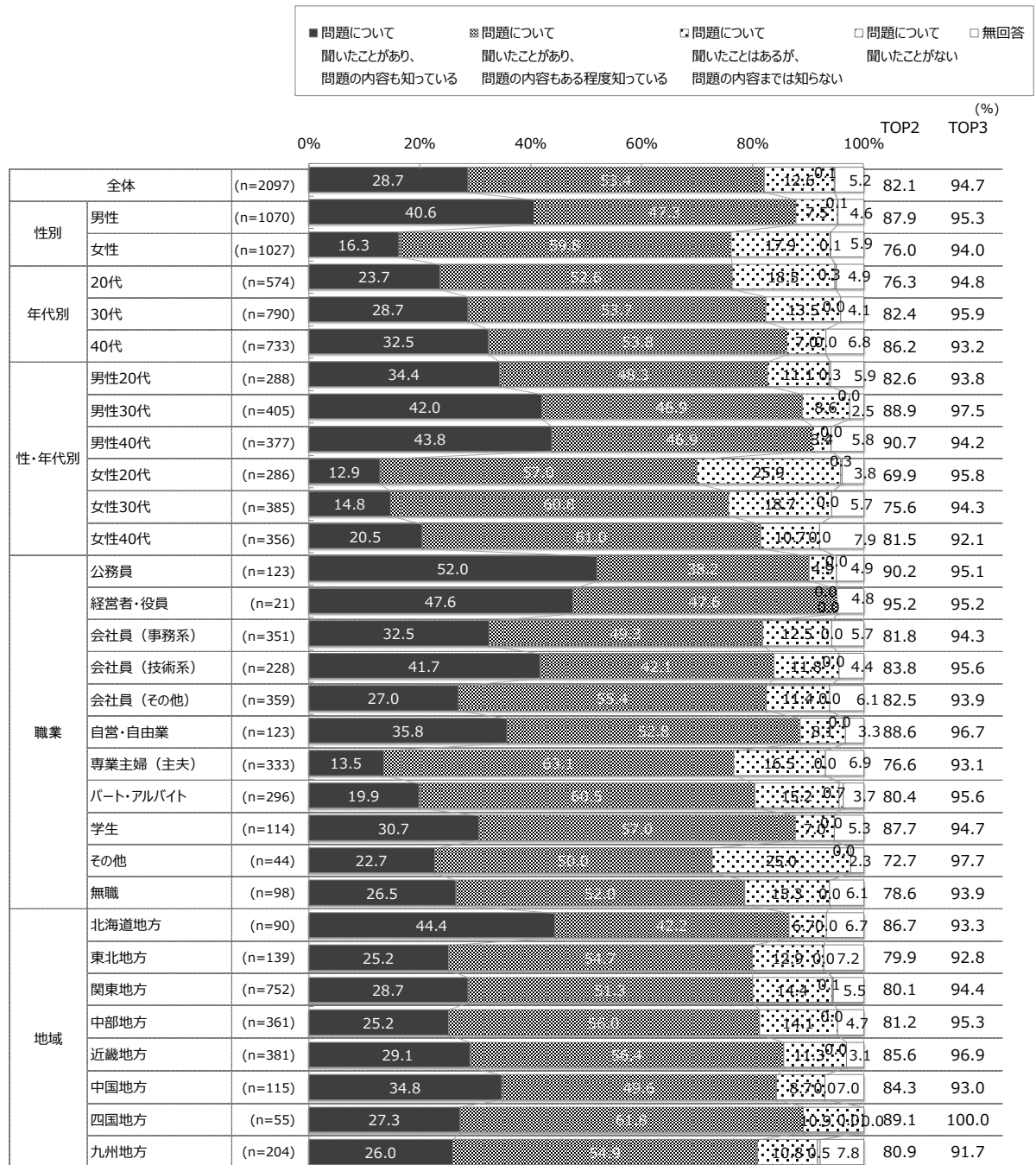
- ・ 認知状況を男女別で見ると、男性に対して女性の認知度がやや低い。
- ・ 年代が高くなるにつれ、認知度も高くなっている。
- ・ 北海道地方の内容までの十分な認知は、他の地方よりもやや高い。

Q1. あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じですか。(○は一つだけ)



2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>



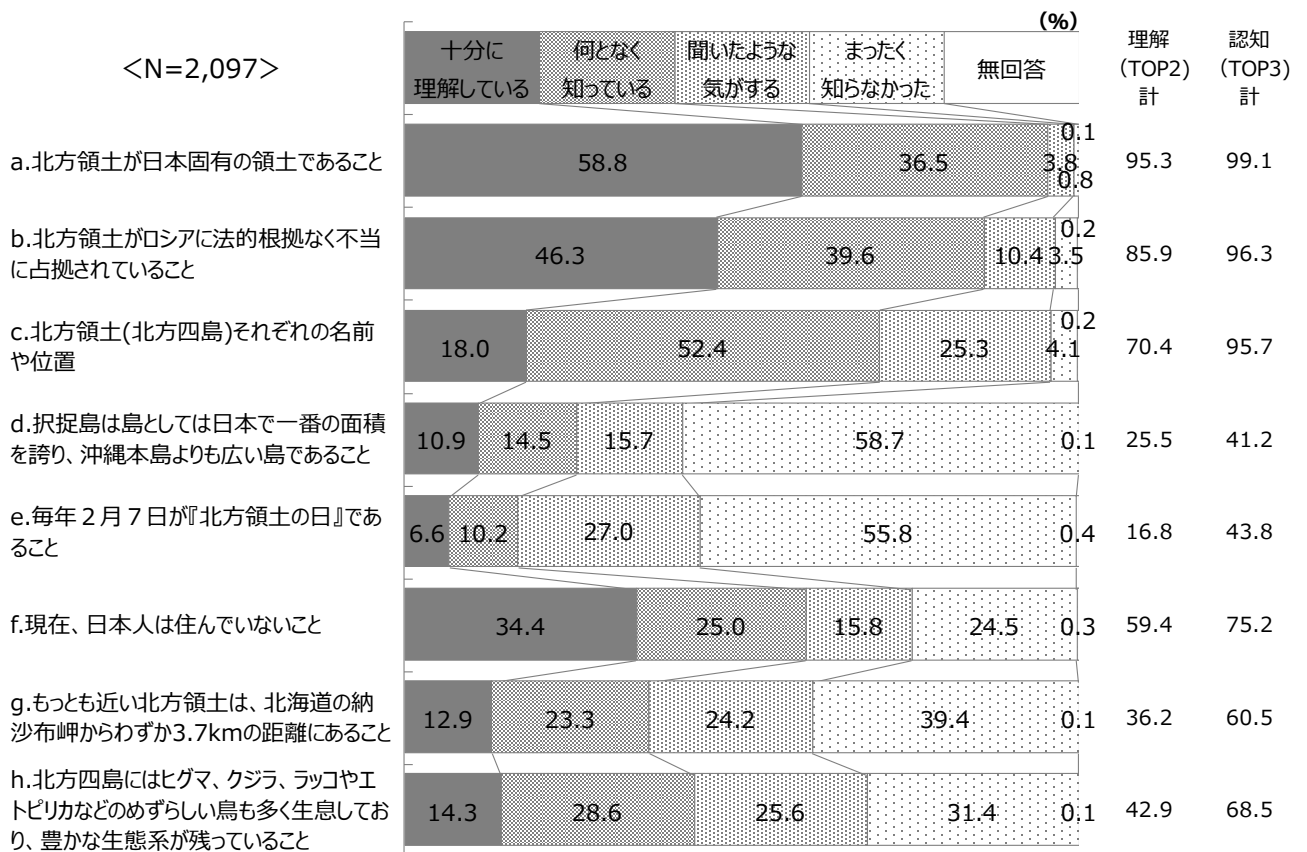
\*サンプル数が 30 未満は参考値として掲載

② 北方領土問題に関する認知

北方領土問題への認知度は、「北方領土が日本固有の領土であること」が最も高く、「十分に理解している」が 58.8%。「何となく知っている」と回答した人も含めると、9 割以上に認知されている。「毎年2月7日が『北方領土の日』であること」は知っている層では 16.8%とあまり認知されていない。「択捉島は島としては日本で一番の面積を誇り、沖縄本島よりも広い島であること」、「毎年2月7日が『北方領土の日』であること」は、「まったく知らなかった」が半数以上を占める。

- ・ 「十分に理解している」と回答した中での認知状況を各層ごとにみても、全体的に男性に比べ女性の認知度が低い。また、年代が低くなる程、理解度も低くなっている。
- ・ 北海道地方では、全体的にスコアが高く、他の都府県よりも認知がすすんでいる。

Q2. あなたは、「北方領土問題」について、以下の内容をどの程度、ご存知ですか？あなたご自身の理解について、以下に挙げた内容についてお答えください。(〇は、a～hそれぞれについて、ひとつずつ)



II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別「十分に理解している」一覧>

		N	a. 北方領土があること	b. 北方領土がロシアに法的根拠なく不当に占拠されていること	c. 北方領土（北方四島）それぞれの名前や位置	d. 択捉島は島として日本でも一番の面積を誇り、沖繩本島より広い島であること	e. 『毎年2月7日が『北方領土の日』であること』	f. 現在、日本人は住んでいないこと	g. もつとも近い北方領土は、北海道の納沙布岬からわずか37kmの距離にあること	h. 北方四島にはヒグマ、クジラ、ラッコやエトピリカなど、貴重な鳥も生態系が残っていること	i. ひとつもない／無回答
全体		2097	58.8	46.3	18.0	10.9	6.6	34.4	12.9	14.3	32.0
性別	男性	1070	○ 68.7	◎ 57.9	○ 24.0	15.6	8.4	◎ 45.8	17.3	16.4	▲ 22.1
	女性	1027	▲ 48.6	▲ 34.2	△ 11.7	6.0	4.8	▲ 22.5	8.4	12.1	◎ 42.5
年代別	20代	574	△ 52.3	△ 39.5	15.2	10.3	3.7	△ 27.7	△ 5.4	11.3	○ 37.3
	30代	790	57.5	43.8	17.5	9.1	5.3	34.1	11.4	11.9	34.3
	40代	733	○ 65.5	○ 54.3	20.7	13.4	10.4	○ 40.0	○ 20.5	19.2	△ 25.5
性・年代別	男性20代	288	60.4	49.7	21.5	14.6	5.2	37.5	△ 6.9	12.5	28.5
	男性30代	405	○ 67.7	◎ 56.3	22.7	12.6	7.2	◎ 46.4	15.6	13.8	△ 23.0
	男性40代	377	◎ 76.1	◎ 66.0	◎ 27.3	○ 19.6	○ 12.2	◎ 51.5	◎ 27.1	○ 22.3	▲ 16.2
	女性20代	286	▲ 44.1	▲ 29.4	△ 8.7	△ 5.9	2.1	▲ 17.8	△ 3.8	10.1	◎ 46.2
	女性30代	385	▲ 46.8	▲ 30.6	△ 11.9	△ 5.5	3.4	▲ 21.0	△ 7.0	9.9	◎ 46.2
	女性40代	356	54.2	41.9	13.8	6.7	8.4	△ 27.8	13.5	16.0	35.4
職業	公務員	123	◎ 69.1	○ 54.5	◎ 34.1	15.4	11.4	37.4	◎ 22.8	18.7	△ 24.4
	経営者・役員	21	◎ 85.7	◎ 85.7	○ 23.8	14.3	9.5	◎ 47.6	14.3	14.3	▲ 9.5
	会社員（事務系）	351	59.0	45.9	17.4	12.3	8.8	31.9	13.4	14.2	31.1
	会社員（技術系）	228	63.2	○ 52.6	20.6	14.9	5.3	◎ 44.7	○ 18.0	15.8	29.8
	会社員（その他）	359	57.9	45.7	17.0	12.3	7.5	37.3	13.6	15.9	30.1
	自営・自由業	123	○ 66.7	◎ 59.3	◎ 28.5	○ 19.5	8.1	○ 43.9	○ 22.0	○ 22.8	△ 25.2
	専業主婦（主夫）	333	△ 52.3	△ 38.7	△ 11.1	△ 4.8	5.1	△ 26.1	8.7	13.8	○ 38.4
	パート・アルバイト	296	△ 49.3	▲ 35.5	△ 12.5	△ 5.7	4.7	△ 26.7	9.1	△ 7.1	◎ 42.2
	学生	114	◎ 71.1	○ 53.5	◎ 25.4	13.2	4.4	36.0	8.8	17.5	▲ 19.3
	その他	44	△ 54.5	△ 40.9	13.6	△ 4.5	2.3	△ 27.3	▲ 0.0	△ 4.5	34.1
無職	98	62.2	○ 53.1	15.3	10.2	5.1	○ 41.8	8.2	13.3	33.7	
地域	北海道地方	90	○ 66.7	○ 54.4	◎ 32.2	○ 20.0	◎ 18.9	◎ 48.9	◎ 32.2	◎ 34.4	▲ 20.0
	東北地方	139	55.4	△ 41.0	△ 10.8	6.5	6.5	△ 25.2	12.2	15.8	33.1
	関東地方	752	56.5	47.2	19.9	12.1	6.3	35.4	13.0	13.3	33.2
	中部地方	361	59.3	43.5	16.3	8.0	5.3	32.1	11.6	9.7	33.8
	近畿地方	381	59.6	47.0	15.5	8.7	5.8	33.1	10.0	14.4	32.0
	中国地方	115	60.9	○ 52.2	17.4	○ 17.4	8.7	34.8	17.4	19.1	31.3
	四国地方	55	△ 50.9	45.5	21.8	12.7	5.5	○ 40.0	9.1	△ 9.1	36.4
九州地方	204	○ 65.2	43.6	16.2	10.8	5.9	35.3	10.8	14.7	28.4	
Q1 北方領土問題が存在することの認知	問題について聞いたことがあり、問題の内容も知っている	601	◎ 89.4	◎ 78.0	◎ 39.4	◎ 25.3	○ 15.1	◎ 60.1	◎ 28.0	◎ 28.3	▲ 5.3
	問題について聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っている	1120	54.7	△ 39.6	△ 10.4	△ 5.9	3.5	△ 27.5	△ 7.4	9.4	33.7
	問題について聞いたことはあるが、問題の内容までは知らない	264	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 0.8	△ 0.4	▲ 3.4	▲ 0.8	▲ 1.1	◎ 84.5

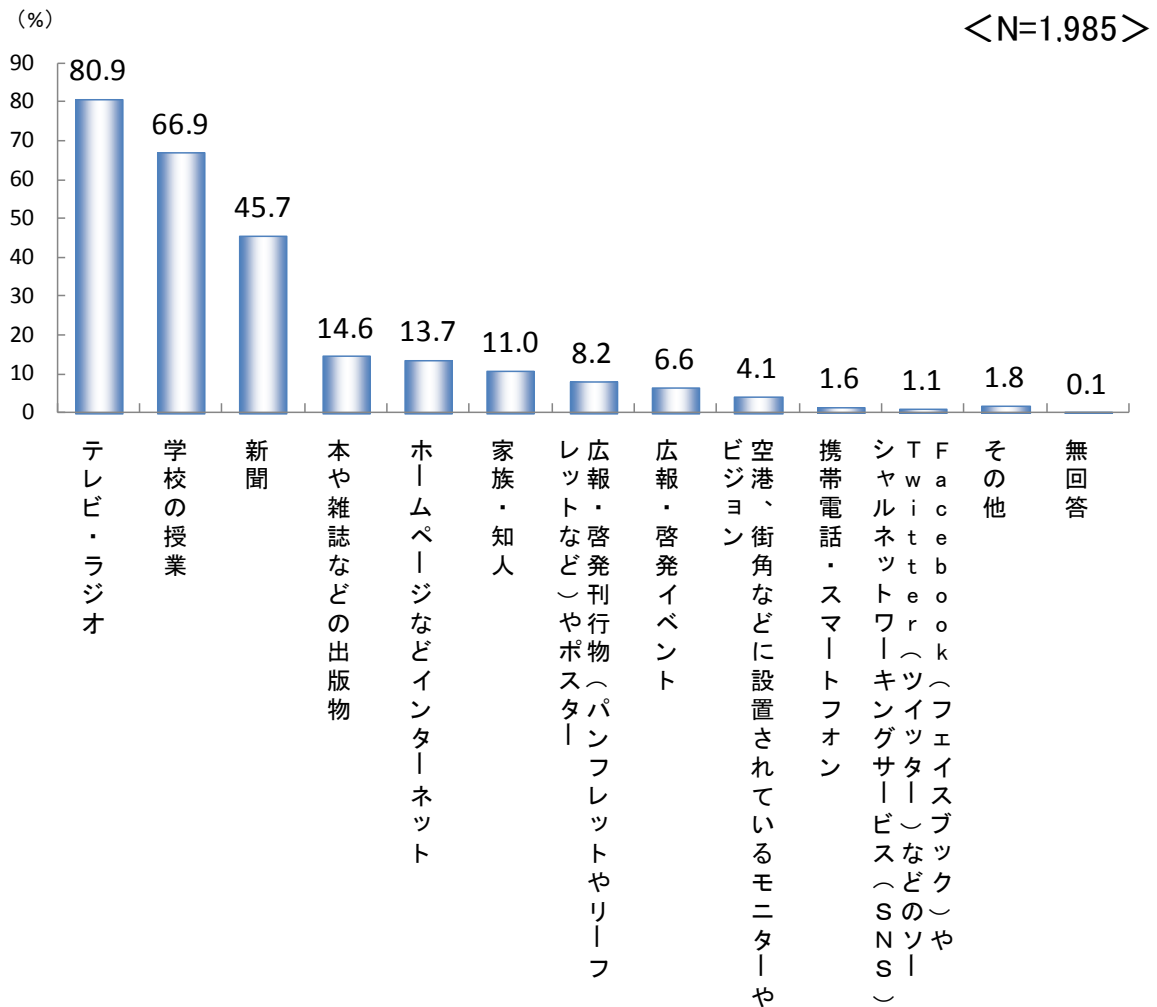
\*サンプル数が30未満は参考値として掲載

※ ◎:全体より10%以上高い、○:全体より5%以上高い、▲:全体より10%以上低い、△:全体より5%以上低い

③ 北方領土問題の認知経路(認知者-Q1において「知っている」の選択者-のみ回答)

北方領土問題の認知経路では、「テレビ・ラジオ」が最も高く、約8割が認知経路としている。次いで「学校の授業」(66.9%)、「新聞」(45.7%)となっている。  
 「Facebook(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)などのソーシャルネットワーキングサービス(SNS)」は1.1%と最も低く、ほとんど活かされていないことが分かる。

Q3. あなたは、「北方領土問題」を何から知りましたか。以下のなかで当てはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)



2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>

- ・ 北方領土問題の認知経路を年代別で見ると、40代では半数以上が「新聞」を認知経路としているのに対し、20代では33.6%と低く、男性20代では24.4%が「ホームページなどインターネット」を認知経路としている。
- ・ 地域別で見ると、北海道地方では「広報・啓発イベント」、「広報・啓発刊行物(パンフレットやリーフレットなど)やポスター」、「空港、街角などに設置されているモニターやビジョン」からの認知が2割以上と他の地域より高く、地域での取り組みによる差がみられる。

		N	テレビ・ラジオ	学校の授業	新聞	本や雑誌などの出版物	ホームページなどインターネット	家族・知人	広報・啓発刊行物(パンフレットやリーフレットなど)やポスター	広報・啓発イベント	空港、街角などに設置されているモニターやビジョン	携帯電話・スマートフォン	ソーシャルネットワーク(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)などのソーシャルメディア	その他	無回答	(%)
全体		1985	80.9	66.9	45.7	14.6	13.7	11.0	8.2	6.6	4.1	1.6	1.1	1.8	0.1	
性別	男性	1020	79.8	64.2	○ 51.9	○ 20.7	○ 20.2	9.4	8.5	8.1	5.5	1.7	1.7	2.1	0.0	
	女性	965	82.0	69.6	▲ 39.2	△ 8.2	△ 6.8	12.6	7.8	5.1	2.7	1.5	0.5	1.5	0.1	
年代別	20代	544	78.1	○ 76.8	▲ 33.6	10.3	16.2	8.8	3.9	3.7	3.5	2.8	0.7	0.6	0.0	
	30代	758	79.4	64.8	45.3	13.6	13.1	12.3	7.1	6.1	3.6	1.5	1.3	1.3	0.1	
	40代	683	84.6	△ 61.2	◎ 55.8	19.2	12.4	11.3	12.7	9.7	5.3	0.7	1.2	3.2	0.0	
性・年代別	男性20代	270	77.0	○ 76.7	43.0	14.8	◎ 24.4	8.5	4.1	5.2	4.8	2.6	1.5	0.4	0.0	
	男性30代	395	79.2	○ 61.3	○ 53.2	17.7	○ 18.7	9.4	8.6	7.8	4.3	1.8	1.8	1.8	0.0	
	男性40代	355	82.5	△ 58.0	◎ 57.2	◎ 28.5	18.6	10.1	11.8	10.7	7.3	0.8	1.7	3.7	0.0	
	女性20代	274	79.2	◎ 77.0	▲ 24.5	△ 5.8	△ 8.0	9.1	3.6	2.2	2.2	2.9	0.0	0.7	0.0	
	女性30代	363	79.6	68.6	△ 36.6	△ 9.1	△ 6.9	15.4	5.5	4.1	2.8	1.1	0.8	0.8	0.3	
	女性40代	328	○ 86.9	64.6	○ 54.3	△ 9.1	△ 5.8	12.5	○ 13.7	8.5	3.0	0.6	0.6	2.7	0.0	
	公務員	117	79.5	65.0	○ 55.6	○ 21.4	15.4	10.3	8.5	10.3	1.7	0.9	1.7	2.6	0.0	
	経営者・役員	20	▲ 70.0	▲ 65.0	45.0	◎ 35.0	◎ 40.0	◎ 30.0	◎ 30.0	◎ 20.0	◎ 10.0	◎ 20.0	◎ 20.0	5.0	0.0	
職業	会社員(事務系)	331	81.0	63.4	47.7	13.9	15.1	12.7	9.1	6.3	5.1	1.2	0.9	1.5	0.0	
	会社員(技術系)	218	77.1	70.6	45.0	○ 19.7	16.1	7.8	6.4	6.9	6.4	1.8	0.9	0.5	0.0	
	会社員(その他)	337	83.1	63.2	○ 50.7	17.8	11.6	10.4	7.1	6.2	3.6	1.8	1.5	3.3	0.0	
	自営・自由業	119	78.2	65.5	○ 51.3	○ 24.4	○ 20.2	14.3	10.9	7.6	5.0	1.7	0.8	1.7	0.0	
	専業主婦(主夫)	310	82.6	70.6	△ 38.4	△ 6.1	△ 5.5	11.3	7.7	5.8	2.3	1.3	0.6	2.3	0.3	
	パート・アルバイト	283	80.9	67.8	42.8	10.6	10.2	10.2	8.5	5.3	3.5	2.1	0.7	1.1	0.0	
	学生	108	79.6	◎ 86.1	△ 40.7	13.0	18.5	9.3	3.7	3.7	1.9	1.9	0.9	0.9	0.0	
	その他	43	○ 88.4	69.8	41.9	11.6	11.6	9.3	11.6	○ 11.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	92	81.5	▲ 48.9	41.3	12.0	◎ 29.3	12.0	7.6	3.3	5.4	0.0	0.0	1.1	0.0	
	地域	北海道地方	84	81.0	65.5	◎ 64.3	○ 21.4	13.1	○ 20.2	◎ 26.2	◎ 26.2	◎ 21.4	3.6	2.4	6.0	0.0
東北地方		129	○ 86.8	64.3	○ 51.2	11.6	9.3	10.1	7.8	3.9	3.1	5.4	0.8	0.8	0.0	
関東地方		710	80.0	67.2	41.5	12.8	14.6	11.0	7.7	5.9	5.2	1.7	0.8	1.5	0.1	
中部地方		344	82.3	△ 60.5	44.5	11.9	12.8	10.8	5.5	8.1	1.7	0.9	0.9	2.9	0.0	
近畿地方		369	79.1	69.9	47.4	17.9	14.9	10.3	6.8	4.6	1.6	0.8	1.9	1.6	0.0	
中国地方		107	82.2	62.6	47.7	13.1	13.1	9.3	10.3	5.6	4.7	0.9	1.9	0.0	0.0	
四国地方		55	81.8	○ 72.7	43.6	18.2	18.2	○ 16.4	10.9	5.5	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	
九州地方		187	79.7	○ 74.3	47.6	18.7	11.8	8.6	7.5	4.8	2.7	0.5	0.0	1.1	0.0	
Q1 北方領土 問題が 存在するこ との認知	問題について聞いたことがあり、問題の内容も知っている	601	△ 75.9	71.2	◎ 57.9	◎ 26.0	○ 21.6	○ 16.3	12.8	○ 11.6	8.5	2.0	2.5	2.3	0.2	
	問題について聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っている	1120	82.4	68.4	44.7	11.1	11.3	9.8	7.1	5.2	2.4	1.3	0.4	1.9	0.0	
	問題について聞いたことはあるが、問題の内容までは知らない	264	85.6	▲ 50.4	▲ 22.0	▲ 3.8	△ 6.1	△ 3.8	△ 1.9	△ 1.5	1.5	1.5	0.8	0.0	0.0	

\*サンプル数が30未満は参考値として掲載

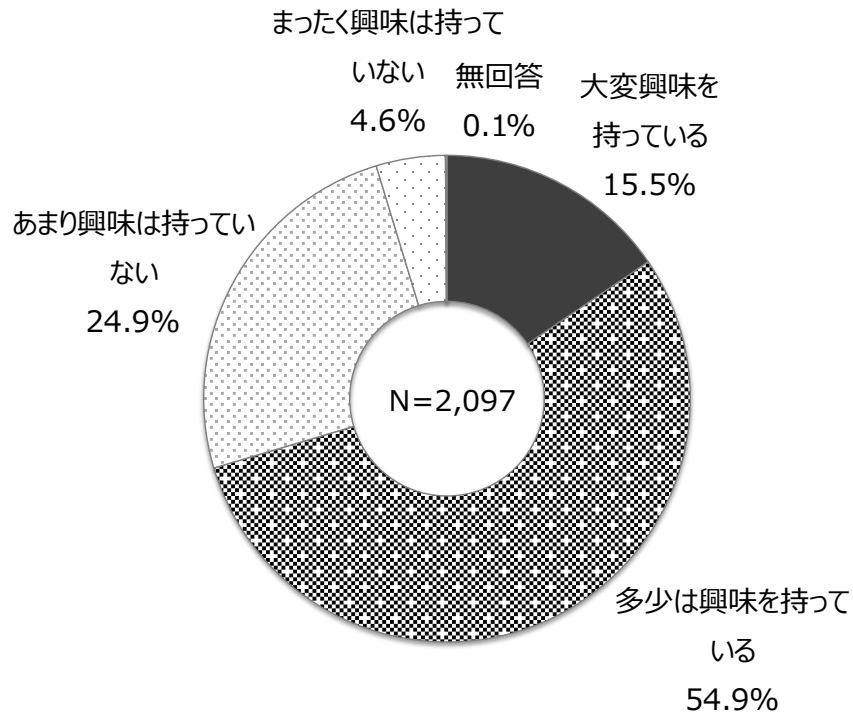
※ ◎:全体より10%以上高い、○:全体より5%以上高い、▲:全体より10%以上低い、△:全体より5%以上低い

④ 北方領土問題の興味度

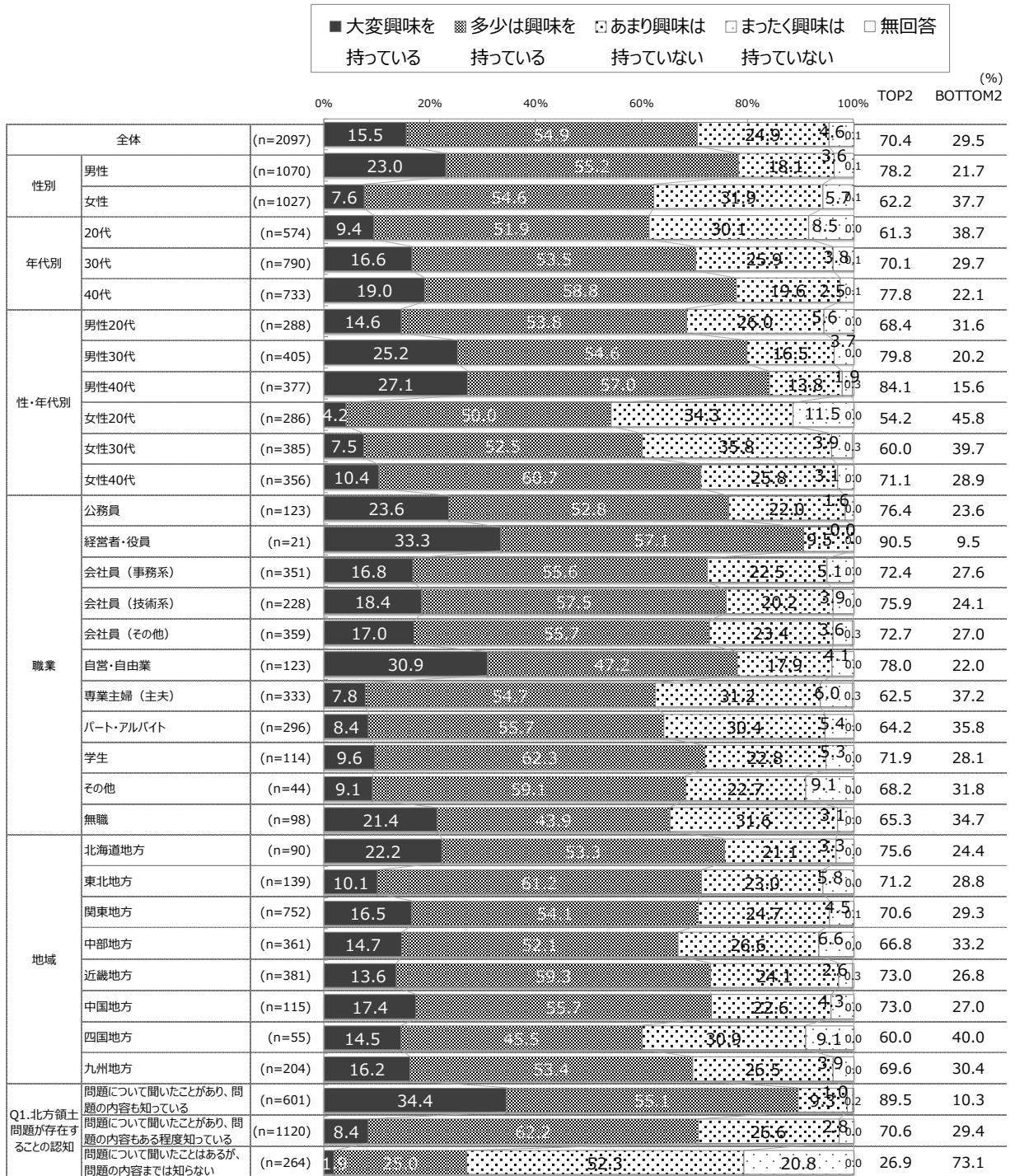
北方領土問題への興味度は、「多少は興味を持っている」と回答した人が 54.9%と最も高く、「大変興味を持っている」と合わせると7割以上の人が北方領土問題に興味を持っている。

- ・ 男女別で見ると、女性より男性の興味度が高い。
- ・ 年代が高くなるほど、興味度も高くなっている。
- ・ 北方領土問題への認知度が高い人ほど、興味度も高くなっている。

Q4. あなたは「北方領土問題」に対して、どの程度、興味を持っていますか？（○は一つだけ）



<属性別>



\*サンプル数が 30 未満は参考値として掲載



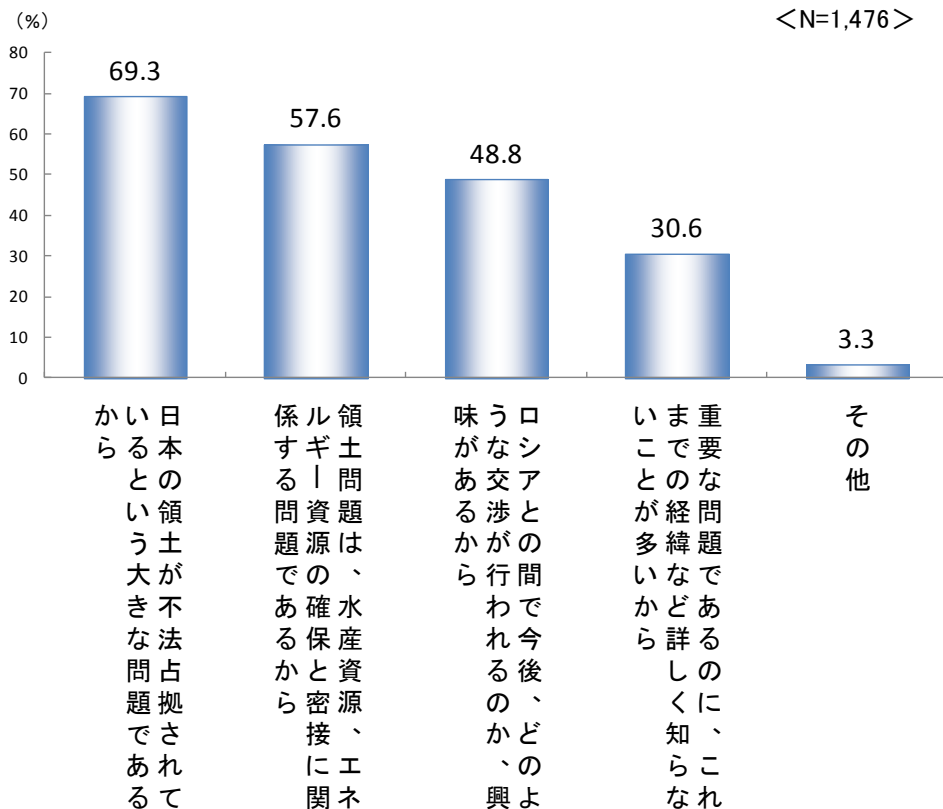
⑤ 北方領土問題に興味を持っている理由(興味者-Q4において「興味を持っている」の選択者-のみ回答)

北方領土問題に興味を持っている理由として、「日本の領土が不法占拠されているという大きな問題であるから」(69.3%)が最も高い。

次いで、「領土問題は、水産資源、エネルギー資源の確保と密接に関係する問題であるから」(57.6%)、「ロシアとの間で今後、どのような交渉が行われるのか、興味があるから」(48.8%)、「重要な問題であるのに、これまでの経緯など詳しく知らないことが多いから」(30.6%)となっている。

- ・ 学生はロシアとの今後の交渉に興味を示している。
- ・ 北方領土問題への興味度が高い人は、日本の領土が不法占拠されていることを問題視している。

Q4SQ1. あなたが、「北方領土問題」に「大変興味を持っている」「多少は興味を持っている」と回答された理由は何ですか。以下のなかで当てはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)



2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>

		N	日本の領土が不法占拠されているという大きな問題であるから	領土問題は、水産資源、エネルギー資源の確保と密接に関係する問題であるから	ロシアとの間で今後、どのような交渉が行われるのか、興味があるから	重要な問題であるのに、これまでの経緯など詳しく知らないことが多いから	その他
全体		1476	69.3	57.6	48.8	30.6	3.3
性別	男性	837	71.7	61.6	51.9	△ 23.4	3.2
	女性	639	66.2	△ 52.3	44.9	○ 39.9	3.3
年代別	20代	352	65.9	△ 50.9	45.5	31.3	2.6
	30代	554	69.9	56.1	49.8	28.9	3.8
	40代	570	70.9	○ 63.2	50.0	31.8	3.2
性・年代別	男性20代	197	69.5	54.8	47.2	△ 22.3	2.0
	男性30代	323	71.5	60.7	52.9	△ 21.7	3.4
	男性40代	317	73.2	○ 66.9	53.6	25.9	3.8
	女性20代	155	△ 61.3	▲ 45.8	△ 43.2	◎ 42.6	3.2
	女性30代	231	67.5	△ 49.8	45.5	○ 39.0	4.3
	女性40代	253	68.0	58.5	45.5	○ 39.1	2.4
職業	公務員	94	71.3	55.3	△ 41.5	△ 22.3	4.3
	経営者・役員	19	◎ 84.2	○ 63.2	○ 57.9	31.6	5.3
	会社員(事務系)	254	71.7	57.9	49.2	32.3	1.2
	会社員(技術系)	173	72.3	61.8	△ 42.2	△ 24.9	2.9
	会社員(その他)	261	65.1	62.1	51.3	28.0	3.1
	自営・自由業	96	○ 76.0	58.3	◎ 61.5	△ 20.8	6.3
	専業主婦(主夫)	208	70.7	56.3	△ 40.4	○ 40.4	3.4
	パート・アルバイト	190	64.7	△ 50.5	47.4	34.2	4.2
	学生	82	64.6	▲ 47.6	◎ 65.9	△ 25.6	3.7
	その他	30	66.7	△ 50.0	53.3	○ 36.7	0.0
	無職	64	68.8	○ 67.2	53.1	34.4	4.7
地域	北海道地方	68	△ 63.2	○ 63.2	50.0	△ 25.0	7.4
	東北地方	99	65.7	▲ 46.5	△ 43.4	◎ 45.5	2.0
	関東地方	531	69.5	59.1	50.5	34.3	1.9
	中部地方	241	69.7	56.4	44.8	△ 21.6	2.9
	近畿地方	278	70.5	59.4	51.8	26.3	5.4
	中国地方	84	73.8	57.1	△ 42.9	△ 22.6	3.6
	四国地方	33	69.7	△ 51.5	48.5	33.3	0.0
九州地方	142	68.3	57.0	50.7	○ 36.6	4.2	
Q1 北方領土問題が存在することの認知	問題について聞いたことがあり、問題の内容も知っている	538	○ 77.7	58.9	○ 53.9	△ 22.1	3.9
	問題について聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っている	791	65.4	58.0	47.4	33.2	2.7
	問題について聞いたことはあるが、問題の内容までは知らない	71	▲ 57.7	▲ 36.6	▲ 29.6	◎ 64.8	2.8
Q4 北方領土問題の興味度	大変興味を持っている	324	◎ 86.7	○ 66.4	○ 56.8	△ 25.6	6.2
	多少は興味を持っている	1152	64.4	55.1	46.6	31.9	2.4

\*サンプル数が30未満は参考値として掲載

※ ◎:全体より10%以上高い、○:全体より5%以上高い、▲:全体より10%以上低い、△:全体より5%以上低い